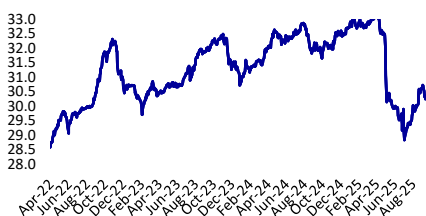
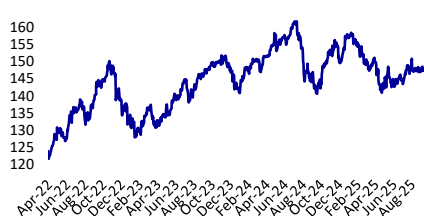


市場動向

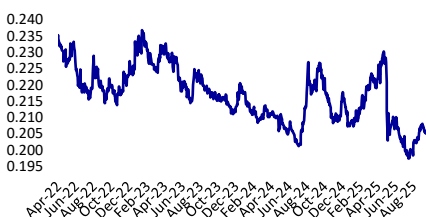
■USD/TWD



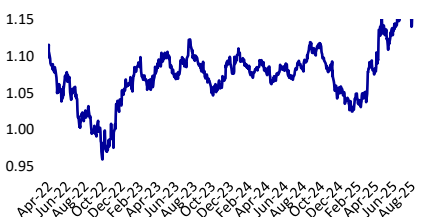
■USD/JPY



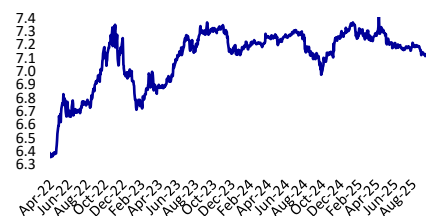
■JPY/TWD



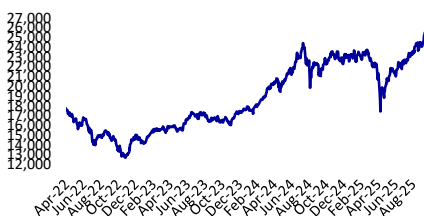
■EUR/USD



■USD/CNH

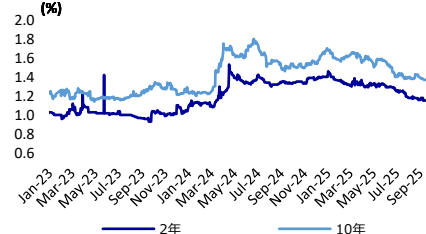


■台湾加権指数



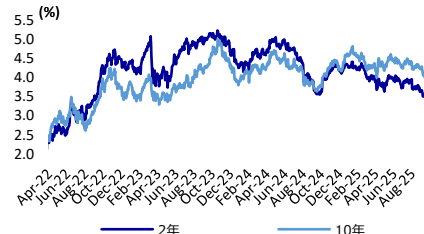
■台湾國債利回り

(%)



■米国債利回り

(%)



先週の市場動向

■USD/TWD

先週のUSD/TWDは反落。9/8、30.600でオープンした後、米非農業部雇用統計が低調だったことから、FOMCによる利下げ織り込みが高まり、海外からの資金流入が急増し、USD/TWDは30.522でクローズ。9/9、台湾株式市場は午前、史上高値を更新し、外国資金による買い越し額が増加し、ドル売りが優勢となった。9/10、ドルは安定しているが、台湾株がさらに新高値を更新したことにより、輸出企業のドル売りが活発になり、USD/TWDは一時30.210まで下落。引け際に中銀のドル買い介入模様があり、30.380でクローズ。9/11、米8月PPIが予想外に下振れたことを受け、早朝のUSD/TWDは30.200近辺まで続落したが、中央銀行の買い支えと軍事関連支出によるドル需要が重なり、下げ幅は限定的。9/12、米国のインフレ率は市場予想を上回ったものの、雇用統計が相次いで低調だったことから、FRBが今週利下げに踏み切るとの市場の見方は依然として強かった。また、台湾株式市場は上昇し、米ドル売りが増加したため、USD/TWDは30.200の安値まで下落。最終的には前週比1.21%ドル安台湾ドル高の30.246でクローズ。週間の外国人投資家の株式買い越し額は1587.5億台湾ドル。

■USD/JPY

先週のUSD/JPYは上昇。9/8、147.90でオープン後、米国債利回りが低下したが、石破首相が辞任表明を受けた政局不安から、円安が進行し、USD/JPYは148円前後で推移。海外時間では、FRBが今月中に利下げを再開するとの見通しから、USD/JPYは一時147円台半ばまで反落。9/9、ドルが急落後、安値から反発した。市場は後日発表される米インフレ指標を控え、USD/JPYは146.32の安値から147円台前半まで上昇。9/10、米8月PPIは0.1%低下し、FRBによる利下げ期待が高まった。米国債利回りが低下する中、USD/JPYは147.47でクローズ。9/11、日8月卸売物価は上昇し、インフレ圧力が継続している。海外では米8月CPIが7か月ぶりの大幅な上昇となった。一方、新規失業保険申請件数は予想を下回ったものの、全体的なデータは依然としてFRBが来週利下げを再開するという見方を裏付けている。9/12、米国のインフレ率は市場予想を上回るペースで上昇したが、労働市場は急速に冷え込み、10年米国債利回りは5か月ぶりの低水準に落ち込み、USD/JPYは147円前後で推移。海外では、米国の消費者信頼感指数が9月に2か月連続で落ち込み、これもドル高を若干押し下げた。最終的には前週比0.17%ドル高円安の147.66でクローズ。

■USD/TWD 予想レンジ：29.900-30.500

今週のUSD/TWDはレンジ推移となる予想。米国の8月インフレ率は予想以上に上昇したものの、雇用統計の軟調は依然としてFOMCが今週利下げを開始するとの見方を裏付けている。今週の焦点は、主要中央銀行の金利決定と会合後の声明であり、これらは今後の金利政策変更への判断材料となるだろう。

■USD/JPY 予想レンジ：146.00-150.00

今週のUSD/JPYはレンジ推移となる予想。米国雇用統計の軟調は、FOMCが今週利下げを開始するとの見方を裏付けている。さらに、日本内閣の見通しが不透明であることも円安圧力となっている。今週の焦点は、主要中央銀行の金利決定と会合後の声明であり、今後の金利政策変更への判断材料となるだろう。

今週の予想

9/15 (MON)	日本市場休場、中国8月小売売上高
9/16 (TUE)	米8月小売売上高
9/17 (WED)	米FOMC政策決定会合
9/18 (THU)	台湾中銀金融政策決定会合、米9月フィッシャー連銀製造業景況感指数
9/19 (FRI)	日銀金融政策決定会合、日本8月消費者物価指数

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。